

東京電機大学大学院 先端科学技術研究科 平成26年度 講義要目(シラバス)

科目名	先端科学技術特別研究
英文名	Doctoral Studies for Dissertation
学部学科	先端科学技術研究科 先端技術創成専攻
配当学年	1～3年次
開講時期	年次継続
単位数	8.0
必選区分	必修
担当者名	研究指導教員

目的概要	<p>本授業の教育目標は、人間の生産活動、生活、医療、福祉、防災など学際的・境界領域的分野において現在の高度科学技術や学術を発展させるとともに、次世代の新技術創成にも寄与できる、指導力と国際性のある人材を養成することである。この教育目標にしたがって、指導教員は学生と密に連絡を保ちつつ、学生主導の授業を行う。</p> <p>具体的には、学生は指導教員と相談したうえで研究テーマを決め、それに関連する学術論文を収集・分析し、適切な研究計画・方法を策定する。この研究計画にしたがって着実に研究を遂行し、実験を伴う研究に関しては絶えず実験データの分析を行い、不成功に終わった実験についてもその不成功の理由を充分検討・考察し、必要があれば研究計画や方法の修正を行う。また、理論的研究に関しては特に理論の起承転結を明確にし、将来の発展性、有効性を追求し、理論の検証に言及する。これらの過程で、指導教員を含む複数の教員と密に連携しつつ、研究を遂行する。</p> <p>学会発表に価する成果が得られた時点で国内外の学会で積極的に発表し、それらの研究成果をまとめ、可能な限り国際的な学術誌に投稿する。</p>
教科書名	特に指定しないので、研究に必要な学術論文や書籍を学生が自ら検索し、それらを参考にするように指導する。
参考書名	
評価方法	<p>評価対象は1) 研究遂行のプロセス、2) 研究の進捗状況や成果の発表などで、これらを総合的に評価する。特に、研究の進捗状況は研究室単位のミーティングあるいは複数の研究室が参加するミーティングで定期的に発表する。指導教員以外の教員が参加する機会において、少なくとも1回は発表し、指導教員以外の評価も受ける。発表形式はそのミーティングに適した形式で行い、基本的にはプレゼンテーション方式あるいはレポート方式とする。</p>
テーマ・内容	<p>本専攻は学際的・境界領域的分野なために、授業計画も画一的ではなく各指導教員および各研究テーマに特色のある授業計画となるが、主な構成要素を以下に示す。</p> <p>I. 各研究テーマ遂行に関して、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 研究計画・目標の策定、研究の準備、研究の遂行・方法の検討など</li> <li>2) 研究データの収集と分析</li> <li>3) 必要があれば研究計画・方法の修正</li> </ol> <p>II. 情報の収集</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 関連する論文の収集、関連する学会・研究会への出席</li> </ol> <p>III. 成果の公表</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学会発表の準備</li> <li>2) 学会発表</li> <li>3) 学術誌などへの論文投稿</li> </ol>
E-Mail address	
履修上の注意事項・学習上の助言	なし